

ゼレンスキー大統領の「別の顔」についての 元側近(報道官)の証言の紹介

山崎圭一(横浜国立大学大学院教授、日本AALANews連帯委員会常任理事)

2026年6月17日執筆

ウクライナのゼレンスキー大統領の、われわれが知る顔とは異なる「別の顔」があることを証言する、ショッキングな動画を視聴したので、紹介しておきたい。なお、筆者はウクライナの研究者ではなく、ましてやゼレンスキー大統領の行動や人となりを研究しているわけではないので、同大統領についての論評はおこなわない。戦争中の当事国の大統領については、ロシアについてもウクライナについても、即時停戦を求めるという考え方が、筆者の立場である。戦争を少しでも早く終わらせるという観点から、筆者はいずれか一方の大統領を応援すること、すなわち戦争当事国の片方に肩入れし、他方を批判することは、控えるべきだと考えている。

ただし、私はブラジルなどラテンアメリカを主に研究しているので、過去ブラジルのルラ大統領が、ゼレンスキー大統領を、2022年の戦争勃発直後から(当時ルラ氏は大統領選の候補)停戦に積極的でないと批判してきたこと(ルラ氏はプーチン大統領も戦争を開始したことについて批判しているが)、ウクライナからの武器供与の依頼をルラ氏が拒否したこと(大統領就任後)などは、大学の講義などでも紹介してきた。このゼレンスキー大統領に対する批判的姿勢は、おそらくブラジル外務省の考え方でもあると推察される。ブラジル外務省は、ブラジルの全省庁の中でもっとも力のある省で、ほとんどの外務大臣は官僚のトップが就任してきた。つまり、外務省内での出世の最終ゴールは、外務事務次官ではなく、外務大臣なのである。その大臣(現在はマウロ・ヴィレイラ氏、外務省プロッパの外交官)も、ルラ氏の言動を批判していない。ブラジル外務省は伝統的に中立外交、多国間主義を重視してきた。ルラ氏のゼレンスキー大統領への批判は、外務省の考え方と一致していると考えられる。ルラ氏の批判は、決して思いつきの発言ではない。

本題であるが、米国のタッカー・カールソンのYouTube番組「ザ・タッカー・カールソン・ショー」に、2026年5月の半ば、ゼレンスキー大統領の元側近(彼の

報道官)のイウリア・メンデル (Iuliia Mendel) さんが出演して、ゼレンスキー大統領の「裏の顔」について赤裸々に証言した。YouTube 番組へのリンクは、以下である。使用言語は英語である (時間は約 1 時間 38 分)。

<https://youtu.be/Pkz2-cWHPbg?si=DzX06YRipe99So4z>

証言内容は衝撃的である。メンデル氏は、ゼレンスキー大統領はTVの顔と実際の顔が全く異なること、感情を制御できない人であること、すぐエスカレートする (感情が昂ぶる) こと、ウクライナの平和の最大の障害は彼であること、彼に戦争を終わらせる気持ちがないこと、大統領としての行動は独裁者であることなど、政権の権威主義的・非民主主義的実態を詳細に証言された。ゼレンスキー大統領が民主主義のシンボルであることはまったくなく、彼はウクライナには独裁がよいと述べていること、2014年のドンバスでの戦争の頃は、彼はロシアのTVに出演してお金儲けをしていたところで (ロシアのTV界での活躍で成功し、富裕になった) 同年ロシアの支配下にはいったクリミアでバカンスを楽しんでいたこと、2019年12月にプーチン大統領との私的な会話で、ウクライナはNATOに加盟しないと約束していたが、その後NATO加盟推進派に転換したこと、なども証言されている。ゼレンスキー大統領が薬物中毒者ではないかという疑惑についても、彼女は「自分の眼で目撃したことはない」と前置きしつつ、その疑惑を否定していない。

* * *

この証言内容の要約を日本語で紹介しているブログがある。シェリルという人のブログ (アメブロ) で、「2年間ゼレンスキーの報道官を務めた女性の暴露話が衝撃的」という文字列で検索すると、その記事へのリンクが得られる。

英語での紹介記事として、以下のNATURAL NEWSというウェブサイトがある。
<https://www.naturalnews.com/2026-05-13-zelenskys-former-press-secretary-claims-zelensky-crackhead.html>

この英文記事の和訳が「カルガリー・チャンネル」というnoteに掲載されていて、「ゼレンスキーの元報道官が、彼はクラック中毒者で、もっと金を手に入れるために戦争を長引かせていると主張している」で検索すると、リンクが得られる。

彼女の証言内容が正しいかどうかを、筆者は確認のしようがない。しかし影響力の大きいタッカー・カールソンの番組に出ることの意味は大きく、そこで虚偽の証言をすることは、私には思えない。彼女はすでに暗殺対象者リストに掲載されているという情報もあり、命がけの証言なのかもしれない。とはいえ、証言内容の評価については、各読者の判断に任せたい。

ゼレンスキー大統領を正しく理解する上で、多様な情報に触れたほうがよいと思

われるので、従来のイメージとかなり異なる情報として、このインタビューを紹介した次第である。

* * *

T . カールソン氏は、元テレビの CNN や FOX ニュースの司会者で、最近 YouTube で毎日動画を投稿されている。チャンネル登録者数は 566 万人と表示されているので、影響力は非常に大きい。当初はトランプ支持の MAGA 派の代表的な人物であったが、今回のイラン戦争開始後、これは無意味な戦争だと厳しい批判をはじめ、その後も連日トランプ大統領とネタニヤーフ首相の糾弾をつづけている。MAGA を抜けた人の一人である。今年にはいって、選挙でトランプ候補を応援したことについて、国民をミスリードした（誤った方向に導いた）と、自身の YouTube 番組で誠実に謝罪している。

標準的な保守派であれば、ロシア敵視の立場から、ゼレンスキー政権を応援する立場のはずである。カールソン氏自身は、メンデル氏の証言を引き出すために、主に聞き手にまわっていて、あまり多くは論評されていない。ゼレンスキー大統領への痛烈な批判を展開するメンデル氏をゲストに招へいするという行動そのものは、保守の立場のカールソンにとってはかなり大きなリスクのはずである。彼女へのインタビューを実行したということは、ゼレンスキー大統領の言動をどうみるかについて、カールソン自身が一定の結論に達したのかもしれない。

* * *

2022 年 2 月 24 日に開始したロシア・ウクライナ戦争は、筆者自身は「米露 35 年戦争」（米国によるロシア潰しの 35 年）的一幕と理解しているが、それはさておき、あらためて、即時停戦の実現をいのっている。